

るだろうという道筋が見えている。だから、そこを含めてでもやろうと言ってくれるところがあれば、どのような支援体制を組むか、建設業者に安く造ってもらえるかと相談するところにもう一步進みたいが、現在止まっている。

これは価格の問題ではなく、業者が全国を広く動いており、なかなか集まることでできず、話し合いができていない。今まで数名で会議はしているが、まだ話は詰まっていない。それと同時に経費、売電の話を含めて一緒に認定を受けた浜頓別町、稚内市も前に進んでいないという実態もある。

酪農振興町村会の中でも送電できない実態について、国に要請しているという話になっており、インターネット会議でもそのように進めていこうという話をしている。



敦・高齡者保健福祉の充実に
植村・町道改修整備事業について

高齡者保健福祉の充実に
ついて

質問 町内の単身高齡者世帯が1百30世帯在在し、以前から小規模ケアハウス等の開設を望む声があるが、現在の協議状況は。

町長 本年10月に第8期介護保険事業計画の策定に向けたアンケート調査や対象の高齡者から直接聞き取りをした要望の集計段階に入っている。今後は関係機関を交えて協議を進めて行く。

質問 単身高齡者向け緊急通報システムの利用状況は。

町長 利用者からの健康相談や連絡が年間約10件程度あり、緊急要請による搬送対応は直近の5年間で3件。

質問 このシステムを採用してから20年以上経過している。光ケーブルなどを利用した新しい見守りシステムに改修すべきでは。

町長 委託先の事業所は24時間体制対応できており、別のシステムを利用することは考えていない。今後、診療所や担当者の協議会の中で議論をしていく。

質問 コロナ禍での高齡者をケアするには、自宅に直接訪問する訪問看護ステーションを設置し、在宅医療の提供体制を充実させるべき。

町長 地域包括ケアシステムの構築を含め、担当者で検討を進めている。現在集計中のニーズ調査の結果を踏まえ、更に協議を進める。

町道改修整備事業について

質問 以前までは、町道の改修計画が議会や町民に説明されていたが、その後は道路整備に係わる補助財源が乏しくなり、整備計画どおりに改修整備が出来なく

なったとの事だが、市街地区の3路線の改修整備が急がれる状況ではないか。

町長 橋梁点検事業で町内対象橋梁91橋中、早期措置段階Ⅲ判定が9橋あり、Ⅳ判定の交通止めになる可能性が極めて高い状況になっている。その様な事態を回避するため、橋梁長寿命化事業を優先してきた。

住民からの町道路整備要請もあり、現在の考え方は、幌延北進線(東町方面)は

町長 地域医療に必要な人



明・電源三法交付金等の財
源の使い方について
高橋・監査委員の決算審査で
の意見について

北部送電網整備終了後の令和5年度頃に着手予定。三条仲通線は現状の道路線形で改修を進めると一部民地が関係してくるため、協議に時間を要する。手続きを終え次第、改良調査を検討する。

駅前仲通線は、地域住民と公共交通機関から改修整備の要望が寄せられており、下水道や浄水管の附帯工事も含めた地質調査を検討していく。

電源三法交付金等の財源の
使い方について

質問 幌延町は、電源三法交付金等収入により、50億円を超える基金がある。深地層研究計画の延長により、今後交付金を活用することが出来る。今後、どのように運用していくのか。

町長 地域医療に必要な人

材の確保、子育て環境の整備、消防・救急体制の維持等を図るため、診療所、保健センター、こども園・問寒別へき地保育所、北留萌消防組合幌延支署の人員費の一部に充当している。その他、幌延深地層研究計画の知識の普及や情報収集を目的に実施する事業に充当